

高島市地区 赤十字奉仕団だより



さあ できることから始めよう!



赤十字奉仕団結成75周年記念
滋賀県赤十字奉仕団表彰式
(コラボしが21)

不断の努力、高潔な奉仕の精神に向けて

令和7年2月13日より日本赤十字社高島市地区長を拝命いたしました高島市長の今城でございます。

市内各地区の赤十字奉仕団の皆様には、日頃から人道と博愛の精神のもと、赤十字活動の推進にご尽力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、我が国では地震をはじめとする自然災害が多発しており、最近でも、最大震度5強から6強の大きな地震が各地で発生しました。

高島市においては、幸いにも大きな地震には見舞われておりませんが、今後30年以内の発生確率が高いとされる南海トラフ巨大地震が発生した場合には、近畿地方の中南部を中心に甚大な被害が生じる可能性があると予測されています。このような場合は、高島市は被災者支援の役割をしっかりと担わなければなりません。また、温暖化の進行により、豪雨災害や台風による強風被害などのリスクがさらに高まっていると考えられます。

このような状況において、赤十字奉仕団では、被災者支援が必要となることを想定し、日頃から炊き出し訓練等を通じて備えを進めていただいております。また、これまで、国内外問わず、大規模な自然災害や紛争が発生した際は、市内のスーパーマーケット等の店頭での街頭募金を実施いただき、多くの募金が日本赤十字社滋賀県支部を通じて被災地に送られました。

地域の事業でも奉仕活動を広く展開するといった赤十字奉仕団員の信条に基づき、長年にわたり活動を続けてこられ、また日々の訓練や地道な努力を積み重ねてこられた皆様に対し、改めて深い敬意を表します。

結びとなりますが、今年は日本赤十字社滋賀県支部の発足から130周年と赤十字奉仕団高島市地区委員会の発足から20周年の記念すべき年にあたります。赤十字奉仕団の益々のご発展と、皆様方のご健勝、ご活躍を心よりお祈り申し上げます。



日本赤十字社
滋賀県支部高島市地区
地区長 今城 克啓

発行 赤十字奉仕団高島市地区委員会

事務局 高島市健康福祉部社会福祉課内

滋賀県高島市新旭町北畑565

TEL 0740(25)8120

奉仕団の男性団員の交流会で ペール缶ストーフを作りました!

11月28日 朽木の道の駅において、市内男性団員交流会を開催しました。

男性団員は若林氏のご指導のもと、ペール缶ストーフを作り、女性団員はそれを使って炊出しを実演しました。

参加者から「各地区集会所等に常備しておけば役立つなあ」や「防災意識が高まり次に繋がる活動でした」といった声がありました。



災害研修会でエクアドル共和国 での個別避難計画を学びました。

9月22日 南米エクアドル共和国での個別避難計画の取り組みについて貴重なお話を聞かせていただきました。

同国は2年前にも高島市を訪れ、その際に得た知見を自国で活用した成果を報告するため来庁されたところに、地区委員会委員が参加させていただきました。

赤十字の立場から、人道と博愛の精神に基づく実践がいかに重要であることを確認できた時間となりました。



赤十字奉仕団一日研修会 を実施しました!

7月15日 朽木公民館で令和7年度の一日研修会を実施しました。

日赤県支部指導講師 箕浦捨夫氏をお迎えし、「地域防災の取り組みを進めよう」と題して「防災・減災」「防災と地域コミュニティ」等についてお話いただきました。



～安全とモノづくり～ 高島市地区委員会委員研修

12月15日 滋賀県警察本部と三菱自動車京都製作所滋賀工場(湖南市)を見学しました。

県警本部で見学した通信システムは、110番通報により警察官が駆け付ける仕組みで、日々の生活を守ってくれています。

三菱自動車では、エンジンの製造現場を見学。決して新しい工場ではありませんが、5Sが徹底されており、製造工程にミスが発生しないよう工夫されていました。知識を深めることができた研修でした。



あなたの力を 団員募集 お貸してください

人の役に立つことがやってみたい!
みんなと楽しく活動がしたい!
そんな時はぜひ、赤十字奉仕団の活動にご参加ください。

お問合せ先
社会福祉課内
☎(0740)
25-8120



どなたでも大歓迎!



赤十字奉仕団 高島地区委員会 委員名簿

新 高 安 朽 今	マキノ
旭 島 豊 木 津	
榎小足 八林辻 駒深栗 鎌窪若 早古飯 林谷古	
鼻林立 田 井田林 田田林 川谷田 口川	
佐正 和喜和 節清晴 智ひ美 浩加三 明卫眞	
登 功 代 子子美 子美幸 徳栄好 美子美	

編集後記

長かった「コロナ禍も終わり、本格的に活動を再開し、地域とのつながりを取り戻せた2年間でした。その反面、団員の高齢化や今後の活動の継続性など考えさせられました。

私たちの活動の意義や実態をもっと幅広く知っていただくには、広報や活動の仕方など私たちがなりたい姿を、今後一人ひとりが自分自身で考えることを考え、活動の大切さを信じて頑張っていきたいと思います。(広報委員同)

市内奉仕団と団員の方々が表彰されました!!

11月17日に大津市にあるコラボしが21で赤十字奉仕団結成75周年記念 滋賀県赤十字奉仕団表彰式が執り行われました。
表彰において、これまで長きにわたり奉仕活動をされた高島市内の赤十字奉仕団と、個人の方々が表彰されました。今回受賞された方々のコメントをお一人ずついただきました。



マキノ赤十字奉仕団
谷口アツ子

この度栄えある受賞を賜りましたことは、この上ない喜びであり深く感謝の念でいっぱいでございます。
入団20年を振り返りますと、多岐に渡り、学び、出会い、人とのつながりの大切さを改めて実感し、全てがかけがえのない経験でありました。
常に地域の皆様の温かいご支援、共に活動してきた仲間の協力、そして家族の支えがあったからこそ大変嬉しく心よりお礼申し上げます。



今津赤十字奉仕団
河原田洋子

今回、20年の節目で表彰をいただき、とてもありがたく感謝しております。
赤十字の活動は奉仕団のマークの入ったエプロンと会員バッジで信用してもらえらる大切なものです。
活動が無理になった時「家族や近所の方に引き継いでもらい、会員バッジが渡せるようになりたい」この思いを次世代につないでいくことの大切さを強く感じています。



朽木赤十字奉仕団
若林美幸

今回表彰いただき誠にありがとうございます。
私は、今必要とされていることは何かを考え「出来るときに出来ることを、決して無理をしない」をモットーに活動しています。
人と人との繋がりを大切にチームワークづくりをし「いざという時に動ける奉仕団」を目指し日々団員さんと楽しく活動を続けています。



高島赤十字奉仕団
辻和代

先輩の方々の活動があり、表彰いただいたことを思い感謝の気持ちでいっぱいです。
今後も赤十字の活動が地域に広がることを願っています。



高島赤十字奉仕団
八田和子

この度思いがけず、表彰して頂き、身に余る光栄です。
この表彰は、ひとえに、団員の皆様の一致団結・ご協力のお陰と、感謝しております。
今後も皆様と一緒に、元気に頑張っていきたいです。どうぞよろしくお願いします。

委員長挨拶 ~歴史をつなぐ~

11月17日 滋賀県赤十字奉仕団結成75周年記念に伴う表彰式が大津市でありました。5年に一度の表彰式で個人の部では「金色有功章(奉仕者)」にマキノ前委員長谷口アツ子さん、60年以上の奉仕団活動で今津・朽木・高島が、55年以上でマキノ・安曇川・新旭各奉仕団が、奉仕団功労表彰として今津元委員長河原田洋子さん、県支部委員長表彰に朽木・若林美幸、高島・辻和代各委員長はともに2任期連続就任、高島・八田和子副委員長は委員長1期・副委員長2期就任で受賞されました。

各奉仕団の受賞は歴代の委員長はじめ各団員さんの「赤十字奉仕団員の信条」による地道な奉仕活動を続けてこられた結果の賜物であり、これを継続していく決意です。

11月には朽木においてパール缶ストープ製作を通して市内男性団員交流会を行いました。各奉仕団では独自の活動を計画し実行しておりますが、市内各団相互の交流の場も継続発展していきたいと思っております。



赤十字奉仕団
高島市地区委員会
委員長 足立 功

地域の中で 学びと実践! ~わたしたちができること~

ふじみ祭祭り ~今年も楽しい マキノの夏フェス~

マキノ

6月7日 晴天のもと今年もバザーの開催と、かやくご飯の販売のお手伝いをしました。
子どもさんや、ご家族が楽しんで参加して下さる事を考え、新しい試みとして団員によるバルーンアートで賑やかな雰囲気にして盛り上げる事ができ、皆さんに大変喜んでいただきました。
奉仕団の知名度向上の一環になったと思えました。



面白い形の
バルーンがあるね!

地域の皆さまと ともに

今津

10月に西区防災フェスティバルに参加、防災食やグッズの説明をしました。地区の皆様も「こういうのがあるんや!」など興味深々でした。
年末にはお一人暮らしの高齢の方へのプレゼントも行いました。
今年は地元の畳屋さんのご厚意でいただいた畳み表を使った手作りの畳コースター。お渡しした方からは、「こういうことをしてくれるのがありがたい」など喜ばれ、改めて活動のやりがいを感じました。



防災研修

~いざという時に
動ける奉仕団に~

朽木

10月19日 やまゆりの里を訪問の後、玄関前庭をお借りして防災研修を実施しました。
メスティンでご飯を炊き、おかずは団員個々が自宅にある食材を一品持ち寄り集まった材料で班に分かれて即興調理。なんと!!一つとして同じ物がない様々な料理が出来上がりました。どれも絶品!!
男性団員はパール缶ストープ作り。備えあれば憂いなし。動ける奉仕団を目指して。



藤樹神社 清掃活動

安曇川

毎年、9月25日に藤樹神社の祭礼が執り行われています。
このため9月に地域の方々が清掃活動をされる際には、安曇川赤十字奉仕団もその活動に参加しています。
今年は9月19日、朝7時から、境内の草むしりや草刈り、拝殿や社務所などの大掃除、皆で協力して1時間程度ですっきり綺麗になりました。
参加した私達も心身ともにすっきりした気持ちになりました。



神戸・大阪方面へ 研修旅行!

高島

神戸市にある「人と防災未来センター」で、語り部さんの震災体験談や、発生時の各地の映像、復興の映像等を見学しました。どれも心揺さぶられるものばかりでした。
特に崩れ落ちた家に閉じ込められ、助け出されるまでの話は、心に深く残るものでした。改めて、災害に備えるための準備、心構えの大切さを考えました。



“ふくしまつり” ぬり絵と スタンプラリー

新旭

11月2日 ほおじろ荘での「ふくしまつり」に参加しました。
赤十字のブースでは、ハートラちゃんのぬり絵と看護実習衣の服や日赤の救護服を着て写真撮影を行いました。
ぬり絵は時間を忘れて一生懸命。写真撮影では、お母さんに向かってピース。
景品がもらえるスタンプラリーもあり、ブースには大勢の方が来られ、赤十字のいいPRができました。

